

東海大学
付属市原望洋高等学校

BOYO

2018年10月1日

第5号

《発行責任者》

望洋会会長：中川 義昭



望洋会会長 中川 義昭

晩秋の候、秋の深まりを感じる今日この頃ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。「秋深き、隣は何を、する人ぞ」まさしく松尾芭蕉の俳句の様な季節になってきました。あんなにも暑く、また災害をもたらした空も今では高く澄み切った秋空、田んぼの稲刈りも終わり人影も無し、海岸に行けば昔の海・・・、すっかり秋が深まり、何か寂しさを感じる今日この頃です。

さて、市原望洋高等学校も学校改革の最終年となりました。校舎・体育館の改修、第1グラウンドの人工芝への改修等、多くの改革がなされました。10月早々には学校説明会、下旬には建学祭も催されます。来年には高校生になる生徒諸君が目を輝かせ、ご家族と来校することでしょう。

いつも感じるのですが、「おはようございます」「こんにちは」「こんな簡単な挨拶でも生徒達からいだと大変気持ち良いことです。このようなさ細な所に『望洋らしさ』真面目さ・優しさ・素直さを感じるのには、諸先生方の御指導の賜物であると深く感謝しております。

後援会のOB会である望洋会の会報誌も第5号発行をむかえ、今回より「市原市」を

改めて取り上げ、新しい企画『市原今昔物語』と題して、市原望洋高等学校の所在する『能満』よりゆつくり歩を進め、名所旧跡巡りを発信致します。休憩に立ち寄ってみるお店、またランチを食べながら・・。今回のランチに紹介するのは郡本(こおりもと)「まこと家のとんかつ定食」です。パワーがあつて大変美味しいですよ。近くにお越しの際は立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

これから市原市を紹介していくに際し、皆様よりたくさんのご意見をいただきたいと思えます。ご近所の古くからある場所、ランチの美味しいお店のご紹介、実際に見学してみた感想等でも結構です。

皆様に愛される会報誌、もちろん多くの皆様に愛される市原望洋高等学校であるよう、皆様のご意見をよろしくお願い致します。



黒坂校長に2018年度学校運営の推進事項とこの1年間で生徒に望むことを述べいただきました。



校長 黒坂 道生

2016年度から始まった学校改革は今年度完成を迎えます。これまでの2学期制から3学期制へ移行し、今年度全学年が6

日制となり、制服も全学年新しくなりました。

施設・設備は3号館と体育館のリニューアルが完了し、ICT環境の整備も順次進み、第1グラウンドの人工芝敷設が9月末に完成しました。

このように学校改革が進んでいる中で、今年度の学校運営方針の推進事項をご紹介します。1つ目は、「生徒の主體的な学習を促す魅力ある教育プログラムの完成を目指す」です。2つ目は、「生徒一人ひとりに確かな学力と思考力を育成し、東海大学進学に繋げる」です。3つ目は、「積極的に部活動等に取り組み両立を果たし、心豊かで他人を思いやることができる生徒を育成する」です。4つ目は、「生徒と教職員が共に信頼し高め合い、豊かな人間関係を構築する」です。5つ目が「保護者と地域との連携を更に強化し、保護者と地域から信頼される愛される学校にする」です。今年度はこれらの推進事項を中心に、魅力ある学校運営に取り組んでまいります。

この1年間生徒に望むことは「さわやかに、しなやかに、すこやかに生きる」です。

生徒には、周囲の人にさわやかに接してほしい。考え方は思い込みではなく、しなやかに発想し柔軟であってほしい。困難なことに耐え、心身ともにすこやかな体をつくってほしい。生徒にはこれらの生き方で、良い出会いが生まれ、自分の進路をしっかりと選択して、将来力強く豊かな人生を歩んでほしいと願っています。

★ 東海大学近況報告 ★

● 熊本・阿蘇キャンパス情報



4月15日に農学部主催「熊本地震追悼式」を行いました。
2016年4月14日と16日の2回にわたって最大震度7を

記録した熊本地震では学生、教職員が多大な被害を受けました。式は地震発生から2年を迎えるこの時期に、熊本地震で亡くなった方々を、山田清志学長はじめとした教職員と農学部の学生ら約90名が参列し追悼しました。

● 農学部・農学研究科の

教育・研究について



宇宙情報センターの用地を活用した「新キャンパス」の整備をし、「熊本キャンパス」及び「阿蘇実習フィールド」にて充実を図ります。今後ともよろしくご理解、ご支援の程、お願い申し上げます。



● 硬式野球部



硬式野球部 首都大学春季・秋季リーグ戦 2季連続優勝！
6月11日(月)第67回全日本大学野球選手権大会へ3年ぶり37回目の出場をしました。
東京ドーム初戦、九州産業大学と対戦。先発は市原望洋高等学校出身の3年生 原田 泰成君です。



10月13日、14日に浦安市運動公園野球場にて開催された秋季リーグ最終戦で勝利して、2季連続71回目

のリーグ優勝しました。

『写真提供・東海大学硬式野球部』

● 陸上競技部



館澤亨次選手(体育学部3年)が日本選手権1500mで二連覇達成！
日本一の栄冠に輝きました！
第30回出雲駅伝で3位入賞しました。
続く全日本駅伝、箱根駅伝も応援宜しくお願いします。



● 柔道部

9月20日から27日アゼルバイジャン・バクーで開催された2018年バクー世界柔道選手権大会に、本学から卒業生を含む7選手が出場しました。

【個人戦】

男子 60 kg級 高藤 直寿

(体育学部卒) 優勝

女子 78 kg超級 朝比奈 沙羅

(体育学部4年) 優勝

【男女混合団体戦】

男子 73 kg級 立川 新

(体育学部3年) 優勝

男子 90 kg級 長澤 憲大

(体育学部卒) 優勝

女子 78 kg超級 朝比奈 沙羅(体育学部4年) 優勝

(写真提供 International Judo Federation)



男女混合団体金メダルの日本チーム

● 「平成30年北海道胆振東部地震」における

本学の対応について

このたびの「平成30年北海道胆振東部地震」により、甚大な被害に遭われた皆様に、心からお見舞い申し上げます。



被災地の皆様をはじめ、北海道在住の卒業生並びに在校生のご家族、関係者の皆様のご健康と復興を心よりお祈り申し上げます。

★ 市原望洋高等学校近況報告 ★

● 第33回入学式

4月5日(水)2018年度



第33回入学式が挙行されました。

松前記念講堂は今年も保護者の皆様で満席でした。

盛大かつ厳粛な入学式となり、新入生346名が入学いたしました。

松前重昭理事長式辞、黒坂道生校長告辞からの心温まるお言葉をいただき、望洋会中川会長も祝辞を述べました。

● 第33回体育祭

6月1日(金)晴天の中、第33回体育祭が開催されました。土のグラウンドで開催する最後の体育祭です。

多くの保護者の皆さんが応援する中、熱戦が繰り広げられました。



生徒数	女子	男子	合計
1年生	103名	243名	346名
2年生	99名	226名	325名
3年生	106名	192名	303名
生徒総数	295名	650名	945名

● バス路線

無料通学バスが五井駅から学校までの運行便の本数を増やしました。時間に余裕が生まれ、益々充実しました。

※ これから市原望洋高等学校を志望する生徒さんが周りにいらつしやいましたら、どうぞバスが充実したことをお伝え下さい。

無料スクールバスの運行

- ① 五井線 >>> 約15分
五井・市役所前・望洋高校
- ② 鎌取線 >>> 約35分
おひの野駅・鎌取駅・ちはら台駅・望洋高校
- ③ 東金・大網線 >>> 約70分
東金駅東口・大網駅前・望洋高校
- ④ 茂原線 >>> 約60分
長南町役場前・茂原駅・望洋高校
- ⑤ 南部線 >>> 約60分
JR久留里線久留里駅・姉崎地区・望洋高校
- ⑥ 市原南部線 >>> 約60分
小湊鉄道線里見駅・光風台・望洋高校



● フジテレビ「キラビト」に出演!

本校3年生の平岡 優希君がフリースタイル・フットボールと学業を両立している『キラビト(輝く人)』としてフジテレビめざましテレビで紹介されました。



● 目指す舞台は世界!

本校1年生の澤 龍之介君が地域情報誌「シティライフ市原版」で紹介されました。

澤君は「2017年全日本カート選手権FS125クラス東西統一クラス」で優勝しました。

現在は「鈴鹿サーキット・レーシング・フォーミュラ(SRSiFomura)」でスカラシップ(奨学金を受ける資格)の獲得を目指しています。皆さん暖かい声援をお願い致します!



● 2学年知的財産教育講演会

7月14日(土) 於 松前記念講堂

知的財産教育の一環として、「プロのコピーライターから学ぶ」と題し講演会が実施されました。アイディア商品の考案に「ブランディング(ブランド化)」の視点を取り入れることを学びました。今の時代において知的財産の重要性を学びました。



★ 部活動報告 ★

● 吹奏楽部



6月24日(日)
第15回サマーコンサート
今年のサマーコンサート
も素晴らしい演奏と精いつ
ぱいのパフォーマンスが
繰り広げられました。是
非、一度サマーコンサート

に足をお運びください。

第17回吹奏楽部定期演奏会は12月24日
(月)市原市市民会館で開催されます。

● 放送部

いちばらFM(76.7MHz)で放送部の
部員による「望洋が行く!」が、毎週土曜日
10時〜放送中!

(再放送は日曜日の12時)

放送内容は生徒の皆さんの日常や部活動
情報について放送しています。

※ 皆さん、是非、聴いて下さいね!

● 陸上競技部

千葉県高校総体

鵜澤 葉月 800m 優勝

南関東大会

清田 真一 800m 2位

南関東大会

7位



● 男子バレーボール部

関東大会千葉県予選大会

ベスト8

千葉県高等学校総合体育大会

ベスト8

● 射撃部

千葉県高等学校総合体育大会

エアライフル女子個人の部

準優勝 實川佳那さん(2年)

● ソフトボール部

関東高等学校ソフトボール大会千葉県予選大会

ベスト8

● サッカー

関東高等学校サッカー大会千葉県予選

ベスト32

● 野球部

<選手権大会>



第100回高等学校野球選手

権記念東千葉大会

ベスト4

6回戦対 木更津総合

9:2で敗退

第71回秋季千葉県高等

学校野球大会

ベスト8

4回戦対 銚子商業

11:7で敗退



<秋季大会>

※ スコアブックを書き続けて



1999年卒

望洋会代表役員

阿部 邦弘

野球部の応援に行くと、一心不乱にスコアブック
を書き続ける不思議な男性が目飛び込んできません
か?

彼こそ1999年度 後援会会長、現望洋会代表役
員の阿部 邦弘さんです。

阿部さんは、日本大学法学部卒業後、市原交通刑務
所の看守をかわきりに、2018年3月迄、単身赴任
で東京拘置所の看守を勤めました。

次男さんが少年野球を始めた時からスコアブック
を書き始め、望洋高校野球部在籍中はもとより今日に
至るまで、ずっと野球部のスコアブックを書き続け
ました。試合日は必ず球場に駆け付け、親子の絆を深
め、スコアブックを書き続けました。その数は三百
試合を優に超えています。

スコアブックを書く姿が新聞記者の目に留まり、
インタビュー記事が読売新聞に掲載されたこともあり
ました。

スコアブックの記入は今も現在進行形です。

もし、球場で阿部さんを見かけましたら、応援の一
声をお願いします。

「フレイ!フレイ!阿部ちゃん」

★ 望洋会活動報告 ★

● 入学式

4月5日(木)

入学式に多数の役員が参列しました。

364名の新入生をお迎えしました。

望洋会中川会長から心のこもった祝辞を述べて頂きました。



した事が報われた瞬間でした。

● 代表役員会

4月11日(木)

今年度の望洋会の会務計画を決める大切な会議が学校長始め多くの教職員の方々や望洋会役員列席の元、2018年度の会務計画および方針が詳細に話し合われました。



式終了後、望洋会で整備された楠木の下で多くの子供たちが記念写真を撮っていました。

望洋会で整備

● 望洋会総会

5月12日(土)

五井グランドホテルに於いて望洋会総会の慎重審議が行われました。2018年望洋会活動のスタートです。皆様のご協力をお願い申し上げます。

● 望洋会・同窓会親睦会

6月10日(火)

今年で2回目の同窓会との懇親会が行われました。市原望洋高等学校の益々の発展を願う同窓会との親睦を深めました。

● 楠下整備作業

7月7日(土)



2018年第1回目の楠下整備が行われました。夏咲きの花々を植え、オープンスクールのきれいな庭で学校見学の中学生をお迎えすることができました。

● 7月11日(水)より高校野球応援

● 2学年知的財産教育講演会

2017年度卒前後援会長

現望洋会代表役員

小屋町 英浩



「プロのコピーライターから学ぶ」と題して知的財産教育講演会が行われました。

小屋町さんは、東海大学付属第五(現福岡)高校在学中に映画「博多つ子純情」に出演。東海大学文学部広報メディア学科卒業後、株式会社浪漫堂にコピーライターとしてスタートしました。

ブランド(知的財産)を育てる、ブランディング(ブランドを作り育てることを手掛け、ハートランドフェリーのブランディング、フェリーのデザインやスポーツブランド、チャンピオンのプロモーション等、幅広く手掛ける仕事をしています。

大切なことは、「らしさがあること/覚えてもらえること」。知的財産の大切さを生徒たちに伝えて下していました。

皆さんもカタログやホームページ、ブランディングのご要望は浪漫堂の小屋町さんに相談してみたいかがでしょうか。

<チャンピオン カタログ>



<ハートランドフェリー>



● 第2回代表役員

7月26日(金)会

事業報告および今後の会務である研修旅行、建学のバザー、親睦スポーツ大会、望洋杯等について話し合いが行われました。

● 望洋会研修旅行

9月15日(土)～16日(火)

「建学の歌を訪

ねる旅」と題し

て建学の地、静

岡に行ってきた

した。東海大学

海洋科学博物館、

三保の松原、鉄舟

寺を見学し、焼津グ

ランドホテルに宿泊



● 楠下整備作業

9月22日(土)

第2回楠下整備が行われました。

総合グラウンド竣工式に來られる来賓の皆様を気

持ちよくお迎え出来るように

皆で力を合わせました。

新入生をきれいな花でお迎

えしようと、たくさんのチュ

ーリップの球根を植えました。



● 松前記念総合グラウンド竣工式

9月29日(土)



平澤牧人様の

ご奉仕による安全祈願の神事に

続き、学校法人東海大学 松前

義昭理事長、本校 黒坂道生校

長、本校後援会 松寄光孝会長

よりご挨拶をいただきました。

式典後は、陸上競技部とサッ

カー部によるデモンストレーシ

ョンが行われ、雨天にもかかわらず多くの方に観

覧いただきました。

これからこのグラウンドで、どのような生徒たち

の活躍が行われるのかとても楽しみです。

6月より工事が行われた本校第1グラウンドの人工芝敷設と全天候型陸上トラックが完成し、新たに「松前記念総合グラウンド」として、9月29日(土)に竣工式を執り行いました。式では、飯香岡八幡宮禰宜



※是非一度、実物を見学に来てください！

★ 市原今昔物語 ★

岡本 照夫・西村 和男 共著

千葉県地図の中央中程に千葉県の形にそっくりの形が浮かび上がってきませんか？ そう、県下最大の市「市原市」です。

市原望洋高等学校に入学するまで「市原市」を知らなかったという声を耳にし、BOYOCORUMを『市原今昔物語』として、少しでも「市原市」に興味をもっていただけならば・・・という熱い思いで筆をとらせていただくことにしました。

第1回目は我が校の所在する「能満」と隣接する「郡本」・「国分寺台」にスポットを当ててみました。

古く奈良時代、大化の改新が断行され、国・郡・里の制が敷かれて国造に代わり、「国司」が置かれました。かつての東海道は相模国(三浦半島)から海を経て房総半島に上陸していたため、幾内(郡)に近い方から「安房国」・「上総国」・「下総国」と呼ばれ、それぞれ「国府」が置かれました。市原市は上総国の中心地として「国府」が置かれ、聖武天皇の詔(みこと)の

り)によって国分寺・国分尼寺【写真左上】が建立されました。

国分寺・国分尼寺が所在する地域は、1960年頃までは家屋が無い平地・雑木林状態でした。

1971年から2001年まで土地区画整理事業が行われ、国分寺周辺の地名が生まれました。



「国分寺台」は「上総国分寺」から因んでつけられました。五井駅からスクールバスが運航している地域です。上総国分寺跡(西門跡平面復元)、上総国分寺金堂跡地(草原)、国分尼寺跡(回廊復元)、展示資料館を訪れ、想いを馳せてみては如何でしょうか。

そして、「国司」の下に「郡司」が置かれ、その役所を「郡衙(ぐんが)」と言いました。「郡本(こおりもと)」は、この郡衙の所在地(郡本遺跡)であったことに由来してつけられました。この地には、条里制の名残りを明確に残す水田が整然と広がっています。「郡本」は市原望洋高等学校の所在する「能満」の隣の地域です。さあ、いよいよ「能満(のうまん)」

です。「能満」は、太古の昔、古東京湾の内進(縄文海進)によってできた谷田によって三方を囲まれた舌状台地(市原台地に属する)です。この地域は、孟地遺跡等、多数の遺跡が発見されており、「能満」が古くから文化的にも非常に開けた地であったことが伺われます。この遺跡群の一角に市原望洋高等学校が建設されたのです。



「能満」の地名の由来は、創建724年と伝えられ、地元住民から「おおでら」として親しまれ、弘法大師空海の作とされる仏を奉る「釈蔵院(しゃくぞういん)」の「五悔の四向文書」、仏教用語「悉能満足波羅蜜(しつこのうまんぞくはらび)」から「能満」の名がつけられたという説が地方史等から調べると有力とされています。釈蔵院の隣には創建672年と伝えられる

「府中日吉神社(ふちゆうひよしじんじや)」、国府のあった平安時代の地方官僚跡があります。鳥居の左右が狛犬ではなく、神猿マサルが鎮座しています。古の空気が漂い、タイムスリップしたような錯覚に陥る場所です。中世以降

「府中」が「能満」だけに冠せられたことから「国府」が能満にあったとする有力な裏付けとなっています。「国府」が何処にあったのだろうかという「国府ロマン」はこの「歴史研究に任せることとし、この「歴史ロマン」に触れ、散策してみたいかがでしょうか。

歴史は繰り返されます。かつて多くの渡来人や帰化人が都を築き日本の礎になりました。その都のエネルギーが上総国を築き、やがて日本を創り上げたように、市原望洋高等学校は、このような歴史的背景のパワーを得て存在しているような気がしてなりません。

市原望洋高等学校は、2017年2月に千葉県・市原市と包括連携協定を締結しました。今や我校が市原市を牽引しているといっても過言ではないほど各行事・防災等のどこかで必ず関わりを持っています。

生徒の皆さんには、日々研鑽を積み、市原・千葉・日本そして世界に羽ばたくような活躍を期待して、まとまりませんが筆を置きます。



※今後の望洋会活動予定のご案内

月 日	会 務
10 月 27 日(土) ～28 日(日)	建学祭 ◎バザー出店
11 月 10 日(土)	親睦スポーツ大会
11 月 23 日(金)	望洋杯ゴルフコンペ
12 月 24 日(月)	吹奏楽部定期演奏会
1 月 2 日(水)～ 3 日(木)	箱根駅伝応援(往路) 箱根駅伝応援(復路)
3 月 2 日(土)	卒業式出席
4 月 5 日(金)	入学式出席



上総国分寺
七重塔(模型)
市役所展示

お勧めコース

- ① 市原市埋蔵物文化財調査センター
※ 国道 297 号を北上して右折
 - ② 能満天神社
 - ③ 府中日吉神社
 - ④ 釈蔵院
 - ◎ランチは「まこと家」さんで絶品
「とんかつ定食」を！！
※ ちょっと国分寺台に戻って
 - ⑤ 上総国分尼寺跡(回廊復元)展示資料館
 - ⑥ 上総国分寺(西門平地跡)
上総国分寺僧寺金堂跡地
- ☆一度見学してみては？

あの人は、今・・・第5回

東海大学付属望洋高等学校

元教頭 細野 久



た。感謝です。

私は、1993年4月から
の5年間、本校に勤務し、
様々なことを学ばせて頂きま
した。
40年間の教員生活の中で
も、忘れられない5年間です

私は、昨年の4月、71歳の妻を病気で亡くしま
した。二人の子供たちは独立していますので、私ひ
とりでの生活が始まりました。寂しさと会話のない
生活は、悲しくつらいものでした。亡き妻との会
話、思い出が中心の日々で、時計が止まったよう
でした。いろいろな人からの励ましのことが、私
に力を与えてくれました。「思い出と戦っても勝て
ない」「人間は、ひとりでは生きていけない。他人
と支え合い、助け合って、上手に生きていく、生か
されている」という事に改めて気づかされました。
生かされてもいる自分、これからどう生きるの
か・・・時間とともに、少しずつ「自分らしく生
きたい、明るく、前向きに」との思いが、持てるよ
うになってきました。

私は今71歳、長寿の領域に入っています。「目標
は高ければ高いほどよい」ともいいますが、今の自
分を考え、日々の生活の中での小さな目標を立て、

小さな成功体験を一つでも多く積み重ねる、そんな
思いを取り戻しつつあります。止まったままだった
時計が、動きはじめたような気がしています。

私たちは、「あす」に向かって今を生きていま
す。しかも、「はじめての今」を生きています。年
齢を問わず、全ての人のにとって「今」は常に「はじ
めて」です。「はじめての今」を生きているという
意識を持つ事で、今を大事にすることが出来ます。
今やるべきことを後回しとせず、日々の実践につな
げることが出来ます。その今、今がつながって「あ
す」になり、「あさって」になり、将来につながり
ます。「いつか」「いつか」と思っている人に「いつ
か」はやってきません。

「明るく、前向きに今を生きる」、「一歩が一歩の
価値を持つ」、そんな歩みをお願いながらの一日一
日です。



※ 編集後記 ※

今回から始まりました、市原今昔物語如何だった
でしょうか。望洋会の会員の皆様のご提案によっ
て、複数回にわたり連載を予定しております。

また細野先生や阿部代表役員、小屋町代表役員の
記事を掲載する事ができた事を感謝します。

桶下整備も2回行い、ますます会務も充実してき
ました。今後も皆様のご要望により、紙面を充実し
たいと考えます。

皆様の力強いご支援をいただければ幸いです。

(編集・広報部・あゝビリーバンバン一同)